



ハイライトよねやま158

1 寄付金速報 — 依然厳しい状況続く —

4月までの寄付金は前年同期と比べて1.1%増、約1,300万円の増加です。普通寄付金が2.6%増、特別寄付金が0.4%増となりました。前年同期をわずかながら上回っていますが、特に特別寄付金は2月以降伸び悩んでおり、4月も、直近5年間では2番目に低い金額となりました。

毎月ホームページで公表している「寄付金納入明細表」には、特別寄付金の寄付者数と寄付者割合が掲載されています。地区・クラブ会員のうち、どのくらいの方が寄付をしているかを示す数字です。できるだけ多くの方からご協力いただくためにご活用ください。また、普通寄付金の下期分も早めにご送金くださいますよう併せてお願い申し上げます。

2 博士号取得状況 — 卒業後も申請可能 —

今年も卒業式を終えた学友から、博士の学位を取得したとの報告が届いています。2012学年度（2012年4月～2013年3月）に博士号を取得した奨学生・学友は42人、累計では3,394人です（5月10日現在）。博士号取得者には、米山記念奨学会からお祝いの腕時計（裏に氏名の刻印あり）をお贈りしています。すでに奨学期間を終了した学友も申請できますので、事務局まで報告をお願いします。※発送は国内のみ



申請方法 「学位記の写し」が「学位取得証明書」を世話クラブ経由で米山奨学会へFAXまたはメールでお送りください。（FAX:03-3578-8281/メール:scholars@rotary-yoneyama.or.jp）

3 台湾学友会が台湾美化協会の清掃活動に協力

4月20～21日、台湾美化協会（台湾を美しくする会）の第11回年次大会が開催され、台湾米山学友会のメンバーや家族、同学友会が支援する日本人奨学生ら22人が、通訳ボランティアなどで活躍しました。

台湾美化協会とは、米山学友の徐重仁さん（1976-77/平塚RC）が、日本のNPO法人「日本を美しくする会」の活動と掃除の哲学に感銘を受けて2003年に創立したもので、年次大会には毎年、台湾人だけでなく、日本人も大勢参加します。特に今年の年次大会は、徐さんが社長を務めていた「統一超商」のCSR部門から独立して初の年次大会とあって、さらにこの活動を盛り上げようと、150人もの日本人が台湾へかけつけました。米山学友らは日台の参加者が交流する大会懇親会や清掃活動において、双方の橋渡しとして活躍しました。



徐さんは、「学友会メンバーの手助けがあったからこそ、今年の年次大会も成功裡に終わった。本当にありがたい」と、仲間への感謝を述べました。また、大会の準備段階から関わった米山学友・阮偉倫さん（2005-06/神戸RC）は、「少しでも大会の成功に貢献できて光栄です。米山学友たち皆の力で、日台の参加者同士が結束を強めることができた。今後もさまざまな形で日台交流に貢献したい」と大役を終え、ホッとした様子で語りました。

徐さんは、「学友会メンバーの手助けがあったからこそ、今年の年次大会も成功裡に終わった。本当にありがたい」と、仲間への感謝を述べました。また、大会の準備段階から関わった米山学友・阮偉倫さん（2005-06/神戸RC）は、「少しでも大会の成功に貢献できて光栄です。米山学友たち皆の力で、日台の参加者同士が結束を強めることができた。今後もさまざまな形で日台交流に貢献したい」と大役を終え、ホッとした様子で語りました。

4 第 2740 地区に米山学友会が誕生！

5月8日に開催された常務理事会で、国内・海外合わせて35番目となる第2740地区（長崎・佐賀）米山学友会の設立が承認されました。九州全域をカバーしていた「九州米山学友会」から2008年に分かれて誕生した「第2730地区（鹿児島・宮崎）米山学友会」に続き、九州では3つ目の学友会となります。

昨年4月7日開催の学友会設立総会で、初代会長に選ばれた官家興さん（台湾／1993-95／佐世保西RC）は、「これから米山奨学生のネットワークづくり、そして、社会奉仕と平和活動に対する啓発教育と実践に取り組んでいきたい。米山奨学金の真の目的と大切さを、学友のみんなと再度共有できれば幸いです」と、抱負を語っています。



5 新モンゴル高校を安倍首相夫人が訪問

3月30日、モンゴルの日本式高校「新モンゴル高校」を安倍晋三首相夫人、昭恵氏が訪問。同校を設立し、理事長を務める米山学友のジャンチブ・ガルバドラッハさん（1998-99／山形北RC／第3450地区フレールRC会員）をはじめ、同校生徒たちの熱い歓迎を受けました。

「生徒たちとの交流を、昭恵夫人もとても楽しんでおられたようでした。交流会で頂いたごあいさつや、生徒からの質問に対するお答えは素晴らしかったです」と、語るジャンチブさん。

昭恵氏との懇談では、ロータリー米山記念奨学事業についても説明し、日本のロータリアンの支援が学業を支え、母国モンゴルに国際標準の学校をつくるという夢の実現を後押ししてくれたことを、感謝とともに伝えたとのこと。



おしらせ

中国・四川省で4月20日に大地震が発生し、多数の犠牲者と被害が出たことに心よりお見舞い申し上げます。当会では、現住所もしくは勤務先が四川省に登録されている米山学友10人へ安否確認・お見舞いメールを発信しましたが、現在のところ、被害報告はありません。